

# 住民主体のまちづくり

No.1 2013.12

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

## ■地域づくりのモデルを検討

車尾地区は、平成 24 年 7 月、米子市の「地域づくりのモデル」を検討・作成する地区に永江地区とともになりました。

今、全国的に、住民一人ひとりが、日常の暮らしの中で、住みよいまちづくりの主体であることを十分に自覚し、お互いに個人として認め合い、そして関わり合うことによって、お互いを支え合い、助け合っていくことが求められています。

今後も変わり続ける社会においては、しっかりと将来を見据え、市民と市民、市民と市がお互いの役割を果たして住みよいまちづくりを進めていかなければなりません。

## ■車尾地域づくりモデル検討会

車尾地区は、自治連合会長・社会福祉協議会長・青少年育成会長・公民館運営委員長・公民館長の 5 名と市役所から市民自治推進課および生涯学習課の職員 3 名から成る「車尾地域づくりモデル検討会」を設け、昨年 10 月から協議を始めました。

## ■各種活動団体の聞き取り

11 月からは子ども会育成会など各種活動団体の代表と現状について聞き取り・意見交換を重ねました。その過程で、団体自身の課題や他の団体と連携して地域の課題の解決に向けて取り組む必要性が話されました。

## ■住民アンケートを実施

また、もっと広く地域の皆様の声を把握するため、今年 8 月下旬に、2,400 世帯を対象にアンケートを実施しました。その回収結果をまとめて、地域の課題を明らかにしていきます。

## ■先進地域の視察研修へ

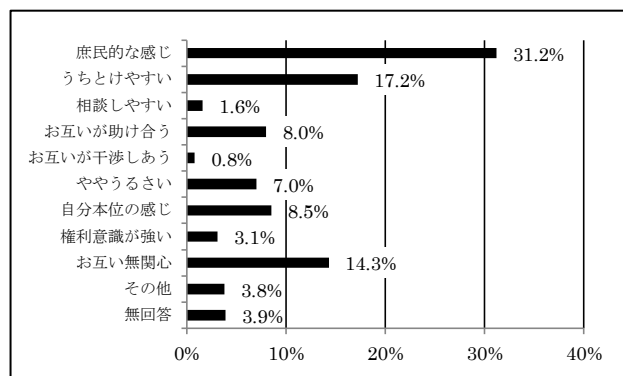
米子市の地域づくり推進事業で、車尾地区の各種団体の代表 19 名が四国の高松市三谷地区と新居浜市泉川地区を 10 月 3 日～4 日に視

察研修してきました。多くの資料の説明と実践事例の見学を受けながら、参加者の積極的で前向きな姿勢に、両地区の担当者も感心され、今後の取り組みの中核メンバーになれると、確信しました。

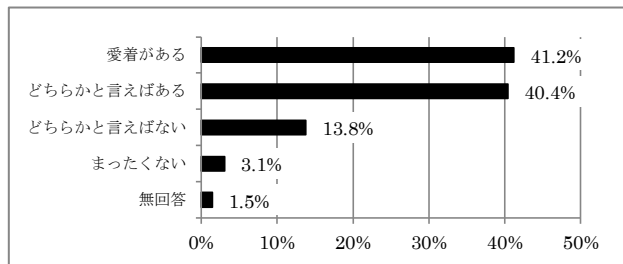
## ■住民アンケートの集計より

869 世帯から回答をいただき、回答率は 36.2 パーセントでした。これから、このたよりに順次結果を載せていきますので、参考にしてください。

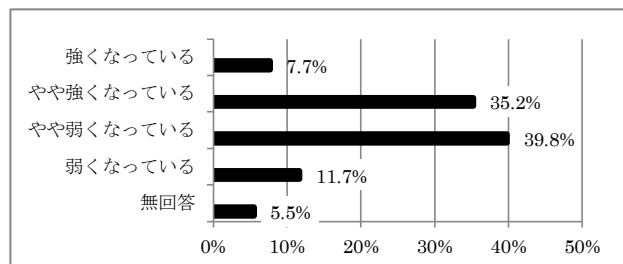
### 車尾の土地柄についてどう感じていますか。



### 住んでいる車尾に愛着がありますか。



### 人と人のつながりは住み始めた頃と比べてどうですか。



自分たちのまちは 自分たちの力で